



くじけず めざそう ゴールまで

5月25日(土)、トママ学校・トママ保育所合同運動会と占冠中学校体育祭が開催されました。また、6月1日(土)には、占冠中央小学校運動会が開催されました。

占冠村の運動会は、保護者や地域の方が参加する競技もあり、大人も子どもも熱中できます。

保護者の皆様は、力を合わせて頑張る子どもたちを見て、大きな成長を感じることができたのではないのでしょうか。



第5回山菜料理コンクール



6月1日(土)、第5回山菜料理コンクールの二次審査会が占冠村コミュニティプラザで開催されました。

当コンクールは、山菜を使ったオリジナル料理のレシピを募集し、山菜や森林・林業を普及する目的で開催されています。

コンクールには、道内外54名が応募。書類審査を突破した8名が、考案した山菜料理を調理・披露しました。

最優秀賞に輝いたのは、富良野市在住の富川哲人さんが調理した『春の息吹! スパンキー(元気な)まぜそば』。

富川さんは『北海道の山菜を使わずして、北海道の食文化は豊かにならない。ラーメンは郷土料理だと思っているが、地域のものを使ってふるさとを思い出せるおいしいラーメンを作れたらと思った。今回は、受賞できて本当に嬉しい。山菜料理がますます発展してほしい。』と話してくれました。

占冠村の山の幸を楽しむ



5月26日(日)、しむかっぶ村民山菜市が、道の駅自然体感しむかっぶで開催されました。「占冠の山菜をみんなでもっと楽しみたい」という村民有志が集まり始まった山菜市は、今年で14回目を迎えます。

占冠村で採れた山菜をはじめ、山菜ラスク、山菜鹿肉タコス、山菜たこやき、山菜そば、ワイルド山菜の天ぷらなど、会場には山の幸が盛りだくさん。

来場者は、占冠村で採れた山の幸を楽しみました。

大切なのは、自分の身を守る『自助』の意識を持つこと



6月8日(土)、『千歳・本通・宮下行政区合同防災講演会』が、占冠村コミュニティプラザで開催されました。

講演内容は、『南富良野町の水害からの教訓について』、『占冠村タイムラインの運用について』の2つ。

南富良野町で水害を経験した石川信行さんと、村役場総務課阿部主幹よりそれぞれ自分の身を守ることの大切さについてお話がありました。

災害が起きたとき、避難の判断を他人に任せてはいけません。まずは、自分の身を守る『自助』の意識を持ち、危険に対処できる判断力を身に付けましょう。